第18回

新潟こころの発達医学セミナー

2026年

11月28日 土 12:30～受付開始

新潟大学医学部有壬記念館で開催いたします。

13:00～13:10　開会のあいさつ　齋藤 昭彦先生（新潟大学医学部小児科学教室 教授）

第1部　～シンポジウム～

13:10～14:10

「シンポジウム名：新潟県内のクライシス・プランの運用について」

座長：杉本篤言先生（新潟大学大学院医歯保健学研究科地域精神医療学講座特任准教授）
演者：笠原寛之先生（新潟大学大学院医歯保健学研究科地域精神医療学講座特任助教）
　　高坂泰子先生（新潟県立精神医療センター社会復帰副部長）
　　鈴木由美子先生（新潟県立精神医療センター児童病棟副看護師長）
　　野村照幸先生（新潟医療福祉大学心理・福祉学部/心理健康学科教授）

県内の発達障害臨床におけるクライシス・プランの運用方法や問題点について議論し、教育・福祉・医療各関係者への情報を共有する。発達特性の偏りの強い患者がセルフコントロールできるようになり、支援者の連携を深めやすくなるための取り組みを紹介していただきます。

14:10～14:20　休憩

第2部　～特別講演～

14:20～15:20



「演題名：子ども時代の逆境は、こころと脳に何を残すのか-ACEs (Adverse Childhood Experiences：逆境的小児期体験) 研究から防衛医学研究へ-」

座長：江川純先生（新潟大学医歯学総合研究科精神医学分野准教授）
講師：戸田裕之先生（防衛医科大学校精神科学講座教授）

防衛医科大学校精神科学講座教授である戸田裕之先生をお招きし、「逆境的養育体験の精神疾患に与える影響とそのメカニズム」をテーマにご講演いただきます。逆境的小児期体験（ACE）がこころの発達や精神疾患に与える影響、その背景にあるメカニズム、さらにトラウマ治療に関する最新の知見や研究成果について、わかりやすくご紹介いただく予定です。

15:20～15:30　閉会のあいさつ 朴秀賢 先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野 教授）

お申込み お問い合わせ

参加費無料
定員先着120名

新潟こころの発達医学研究会
右のQRコードから参加フォームに、お名前、ご所属、ご職業（職種）、返信用アドレスを記入してください。ご不便をおかけして申し訳ありませんが、**事務処理の都合上、申し込みは参加フォームでのみ承ります。**なお対象は、一般の方々、教育・保育・医療・福祉・相談等関係者の方々、大学生・大学院生など本テーマに関心のある方々です。
お問い合わせは、niigatakokoronohattatu@gmail.comまでお願いします。